

第 38 回 J I A 東海支部設計競技・応募要項

日本建築家協会東海支部が主催する「建築設計競技」は、最も伝統ある事業のひとつとして 1984 年に第 1 回が開催され、2022 年で 38 回目を数えます。

今日、社会はあらゆる局面における情報化の進展に伴い加速的に変化し続けています。2011 年に発生した東日本大震災は人々の社会に対する意識・行動に顕著な変化をもたらしました。また格差、貧困問題等の広がり、生きづらい社会をつくりつつもあります。2020 年初頭からは、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、人々の暮らしは一変し、「新たな生活様式」を余儀なくされています。

この設計競技は、このような複雑かつ不安定な社会において、住まう空間の多様なあり方と可能性を問うものです。



「しごと」と生きる家

「しごと」の形は、大きく変化している。

たとえば、コロナ禍を契機としたテレワークの拡充により、場所にとらわれない「しごと」の形が広がった。それにより「しごと」と「家族と過ごす時間」の距離感が縮まった人もあるであろうし、新たな地域に入っのラーニングワーケーションなど、通い慣れたオフィスや街から一歩外へ出て「しごと」を行う人も増えてきて、固定された「しごと」の場の概念は強く揺さぶられている現状がある。

また「しごと」そのものへの問い直しも進んでいる。1つの会社に勤めるばかりではなく、複数の兼業を持つ人、そしてその内には必ずしも稼ぐためではない生きがいのための「しごと」を持つ人もあろうし、さらに「しごと」への対価の在り方・考え方も多様化が見られるのではないだろうか。

しかし一方で、なりわいとしての「しごと」から私達が切り離されたわけでもない。生き延びるための「しごと」というべきか。たとえば昨今のニュースでは、国を追われ移住した方々が、持てるスキルで料理店を始めることもあれば、ギグワークやオンライン労働に従事したり、地縁の中で農業を行うこともあると耳にする。

「しごと」はなりわいと、生きがいが緋い交ぜになり複雑に絡み合う総体であり、今回は「しごと」と生きるをテーマに家を構想して欲しい。

文：生田 京子（審査員長）

【募集要項】

1. 表現方法

①プレゼンシート

用紙の大きさはA2判（420mm×594mm）とします。

着色など、表現上の制約はありません。

各自の提案内容に沿って自由に提案してください。

※計画地、計画面積、家族形態、生活様式等の制限はありません。

また独立住宅、集合住宅、その他の居住形態の制限もありません。

- ・用紙は縦使い、または横使いとし、1枚（片面）にまとめてください。
- ・パネルなど巻けないものは不可とします。また模型などは受付しません。
- ・プレゼンシートには氏名や暗号等目印となるものの記入は認めません。

②プレゼンシートのデータ：PDF形式

- ・データの保存名称には、作品名を記してください。
- ・データはUSBメモリまたはCD-R、DVD-Rで提出してください。
- ・ケースまたは盤面に作品タイトル、氏名を明記してください。

2. 応募資格

応募資格についての制限はありません。

3. 応募方法

専用の申込用紙に必要事項を記入の上、プレゼンシートとデータ（PDF形式）とともに設計競技事務局に提出してください。

プレゼンシートは、折ったり丸めたりしないでください。

申込用紙は、プレゼンシートに貼り付けないでください。

（申込用紙はJIA 東海支部・設計競技 Web サイトよりダウンロードできます）

4. 応募締切

2022年10月14日（金）当日消印有効。

5. 提出先

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄四丁目3の26 昭和ビル5階
（公社）日本建築家協会東海支部

6. 審査員（順不同・敬称略）

審査員長	生田 京子（名城大学/JIA会員）
ゲスト審査員	山田 紗子（山田紗子建築設計事務所）
審査員	石川 翔一（1-1 Architects）
	高瀬 元秀（タカセモトヒデ建築設計/JIA会員）
	水谷 夏樹（水谷夏樹建築設計事務所）
	南川 祐輝（南川祐輝建築事務所/JIA会員）

7. 審査・入賞者発表

①審査方法

1次審査会で、入賞者（金賞候補1名、銀賞候補2名、銅賞候補3名、奨励賞 若干名、ゲスト審査員特別賞 若干名）を選出します。

上位6名（金賞候補1名、銀賞候補2名、銅賞候補3名）が2次公開審査会に進み、奨励賞 若干名、ゲスト審査員特別賞 若干名は表彰式への参加となります。

2次公開審査会のプレゼンはパワーポイントで行うこととします。

②1次審査会

日時：2022年10月30日（日）

1次審査通過者には11月上旬に通知予定です。

③2次公開審査会・表彰式・記念講演会

日時：2022年11月26日（土）

会場・その他 詳細については11月上旬にWebサイトにて公表予定です。

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、リモート審査になる可能性があります。

8. 表彰

①表彰

・金賞	1点	賞状、商品券 10万円、記念品
・銀賞	2点	賞状、商品券 5万円、記念品
・銅賞	3点	賞状、商品券 3万円、記念品
・奨励賞	若干名	賞状、商品券 1万円、記念品
・ゲスト審査員特別賞	若干名	賞状、商品券 1万円、記念品

②発表

12月中旬頃 Web サイトにて公開します。

入賞者には主催者から直接連絡致します。

入賞者の発表は、主催団体のホームページ及び会誌で発表予定です。



9. 著作権

表彰作品の著作権は入賞者に属する。但し、主催団体がこの事業の趣旨にもとづいて、入賞作品を会誌・ホームページに掲載、図書出版または展示のために用いる場合、入賞者はこの使用を無償で認めるものとします。

10. その他

① 質疑応答は行いません。

② 入賞作品及び最終選考に残った作品以外の作品で返却希望者には、審査結果発表後2週間以内であれば返却します。ただし、設計競技事務局での直接受け取りに限り返却します。郵送での返却は行いません。

③ 過去入賞作品の公開

設計競技 Web 上で 第 21 回～第 37 回までの入賞作品を公開しています。

URL <http://www.jia-tokai.org/competition/top.htm>

④ 「2 次公開審査会・表彰式・記念講演会」のご案内

日時：2022 年 11 月 26 日（土）

会場：未定

当日のタイムスケジュール：未定

(参考) 過去の設計競技タイムスケジュール例

作品展示	12:00～17:30
プレゼン（6名）	12:30～14:10
休憩	14:10～14:20
公開審査	14:20～15:00
学生賞・ゲスト審査員賞講評	15:00～15:40
表彰式	15:40～15:50
休憩	15:50～16:00
記念講演会	16:00～17:00



⑤講師：山田 紗子（山田紗子建築設計事務所代表）

<プロフィール> 山田紗子建築設計事務所ホームページより

1984年東京都生まれ。

慶應義塾大学環境情報学部卒業、東京芸術大学大学院美術研究科建築専攻修了。

2007-2011年、藤本壮介建築設計事務所勤務。

現在、山田紗子建築設計事務所代表。京都大学、東京理科大学 他で非常勤講師。

<受賞歴>

2011年 SD レビュー2011 奨励賞

2011年 「Arts&Life：生きるための家」展 コンペティション 最優秀賞

2020年 日本建築設計学会賞 大賞

2020年 吉岡賞

2020年 Under 35 Architects exhibition 2020 Gold Medal

2020年 Dezeen Award 2020 (Urban House -highly commended-)

⑥問い合わせ先

(公社) 日本建築家協会東海支部

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄四丁目3の2 6 昭和ビル5階

URL <http://www.jia-tokai.org/>

E-mail : shibu@jia-tokai.org

※お問い合わせはメールにてお願い致します。

主催：公益社団法人日本建築家協会東海支部

後援：一般社団法人日本建築学会東海支部

2022年6月23日 作成

